

「お母さんの入院」

神村学園初等部三年

園その田のだ杏あ珠み

二年生の三学期の冬休み、十二月始まりぐらいに、お母さんは入院しました。胃に悪いものがあつたからです。お母さんは、大病院で入院しました。さいしょ病院に行つて、わたしは、入院と言ふ言葉にびっくりして、泣きそうになりました。その時は悲しかったです。一人ぐらししている一番上のお姉ちゃんが出来ました。でもお母さんがいないきかん

さんがたコロナウイルスにかかりたくないです。ワクチンは、子どもができないのでこわいです。もしかかいたらどうしようという、ふあんがあります。どうやったらかからないかと言ふと手あらひ、うがいをしっかりしてマスクをしつかりつけていたらいいと思います。そしたら、ちよつとは、かかりにくくなると思ひます。

すぐくさみしかつたです。お母さんは、しゅじゅつをして、胃カメラをしました。いらないうぶぶんを切る、しゅじゅつでした。そのしゅじゅつは、せいこうしました。しゅじゅつの日、わたしは学校でした。学校で、ときどき入院がなつていてかなあ、しゅじゅつだいじょうぶかなあと思ひました。とっても気に入つてドキドキしました。わたしも、びょう気とかで入院するのかなあと思ひました。そうかんがえると、てんてきや、血をとつたりするのがこわくなつて、自分はびょう気になりたくないと思ひました。だけど、しよう来の自分は、分かりません。そのときになつてみないと分からないので、こわくてこわくてゾクゾクしてしまひます。

お母さんの入院がおわつて家にかえつてきました。すつごくひさしぶりでうれしかったです。あともう一ころれしいことがありました。それは、お母さんがわたしにキーホルダーを買つていたことです。お母さんが入院しているあいだよくがなつたねということ、その買つていたキーホルダーをくれました。とってもうれしくて泣きそうになりました。お母さんの胃はなおつたけど、今でもまだていきてきに、だいじょうぶかどうか、病院で見てもらつたりしてあります。お母さんが、いつもけんこうに気をつけて、ずつとずつといつしよにいてくれるといいなと思ひます。

今しんがたコロナウイルスがはやつています。コロナウイルスだけには、かかりたくないです。なぜかと言ふと、何より一番つらそうだからです。テレビなどで日本や外国の、病院でくるしそなすがたを見ると、すつごくくるしいだらうなあと思ひます。だから、し